

Yield Visionが自動配信するレポートの活用方法

「デイリーレポート」から分かること

総評

デイリーレポートは毎日発行され、冒頭には発電所のその日の状態に関する総評が示されます。発電所に異常が発見された場合、以下の1～4の分析結果に基づいて具体的な診断結果をお知らせします（緊急性がある場合、別途アラートが通知されます）。

2. 性能達成指数

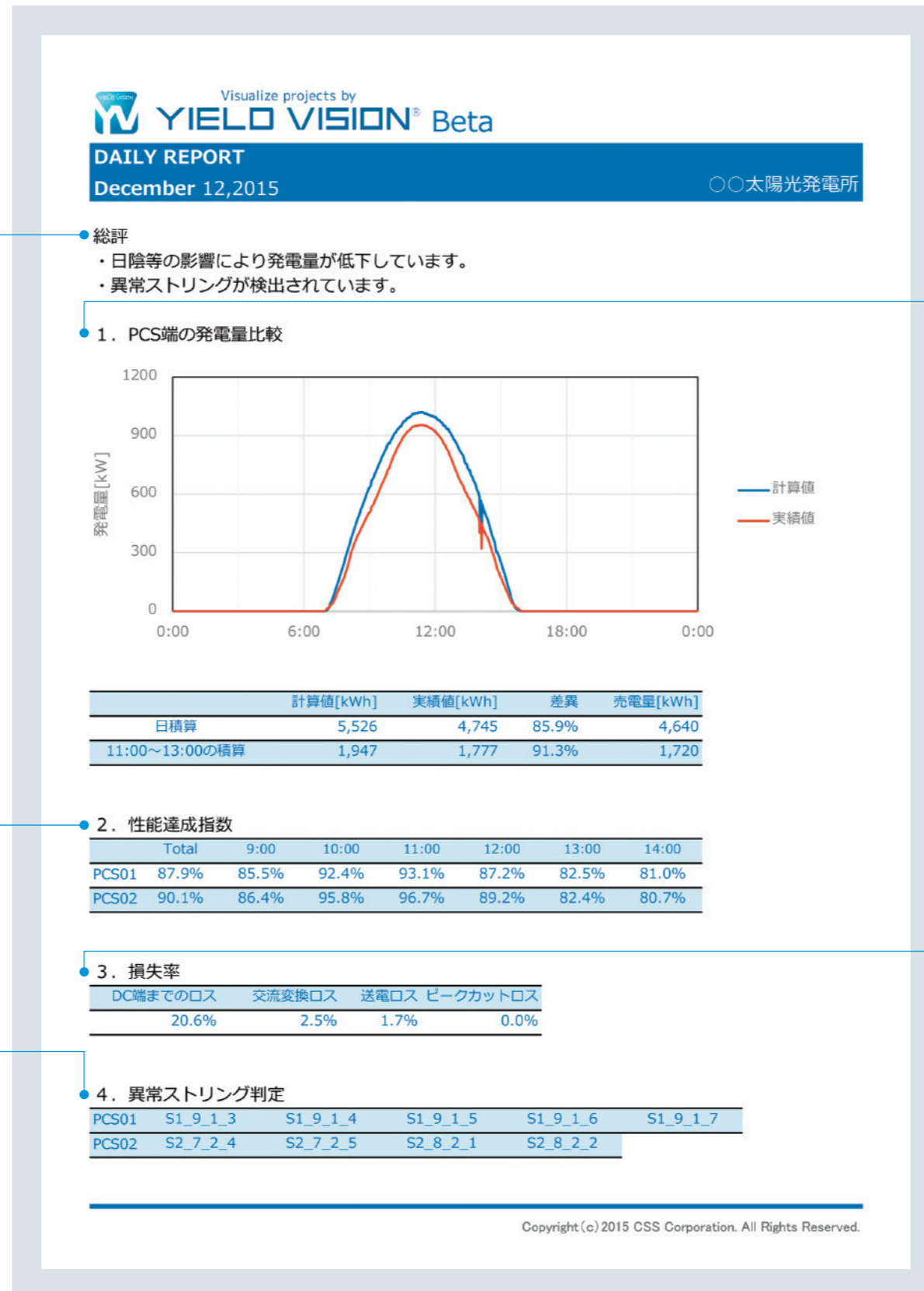
太陽光パネルの本来の能力を100%とした時の実際の発電能力を示す指標です。パワーコンディショナーや受変電設備の影響を加味しない、パネル自体の能力を確認することができます。時間帯別、パワーコンディショナー別の数値により、いつ、どこで異常が起きているのかが一目で確認できます。

時間帯別の達成率によって、特定の時間帯に発生する日陰等、その発電所特有の損失とその影響度合いも把握することができます。

4. 異常ストリング判定

異常ストリングの存在とその発生場所が確認できます。

発電所の特性に合わせて閾値を決めますので、むやみにアラートが発生することはありません。異常がある時にのみ、確実に通知します。



1. PCS端の発電量比較

発電所の実際の発電量と、Yield Vision独自の計算発電量を比較した表とグラフにより、発電所の本来の実力を可視化します。発電所本来の性能が発揮できているか、トラブルが発生していないかを一目で把握することができます。

3. 損失率

太陽光パネルが生み出した電力が実際に売電されるまでには、多くの損失が存在します。この損失を4種類に分類し定量化します。毎日継続して確認することにより、発電所の異常に気づくことができます。

・DC端までのロス

太陽光パネルからパワーコンディショナー直流側までの損失

・交流変換ロス

パワーコンディショナーが電力を直流から交流に変換する際に発生する損失

・送電ロス

パワーコンディショナーの交流側から売電メーターまでの損失で、所内負荷もここに含まれます

・ピークカットロス

太陽光パネルを過積載している場合に、パワーコンディショナーの定格出力で電力がカットされることによる損失